

1. 総合水産試験場概要

① 沿革

明治33年	西彼杵郡深堀村に長崎県水産試験場を創設
昭和4年	長崎市丸尾町に庁舎新設移転
昭和36年	長崎市松ヶ枝町に庁舎新築移転
昭和46年	西彼杵郡野母崎町に増養殖研究所を創設
昭和53年	島原市新田町に島原分場新設移転
昭和55年	西彼杵郡野母崎町に魚病指導総合センターを創設
平成9年	長崎市多以良町に3施設を移転統合し長崎県総合水産試験場を開設
平成15年	政策調整局科学技術振興課の所管となる
平成18年	科学技術振興局科学技術振興課の所管となる
平成23年	水産部漁政課の所管となる

② 業務内容・分掌事務

管理部

総務課	総合水産試験場の運営・維持管理 調査船の維持管理
鶴丸	調査船「鶴丸」の運行、維持管理等に関すること
ゆめとび	調査船「ゆめとび」の運行、維持管理等に関すること

企画開発推進室	試験研究の企画立案・総合調整（試験研究計画を含む）に関すること
---------	---------------------------------

漁業資源部

海洋資源科	資源評価調査 沿岸漁業高度化支援 沿岸漁業開発調査
栽培漁業科	ハタ類資源管理技術開発 遺伝標識技術による閉鎖性海域資源増殖推進

種苗量産技術開発センター

魚類科	高品質魚類種苗の生産技術開発研究 養殖漁業の収益性をたかめる育種研究 養殖魚の育種効率化に向けた育種パイプラインの構築とその実証
介藻類科	環境変化に対応した藻類増養殖基礎技術開発 諫早湾貝類の漁場有効利用技術開発 養殖貝類の優良・高品質化を目指した基礎技術の開発

水産加工開発指導センター

加工科	加工技術の指導と製品開発への支援 本県独自の新たな加工技術の開発 県産魚の品質保持と優位性の確立
-----	--

環境養殖技術開発センター

漁場環境科	漁場環境保全総合対策 赤潮・貧酸素水塊広域連続観測技術開発 アサリの養殖技術開発
養殖技術科	戦略的養殖業を推進するための技術開発 魚病対策技術開発